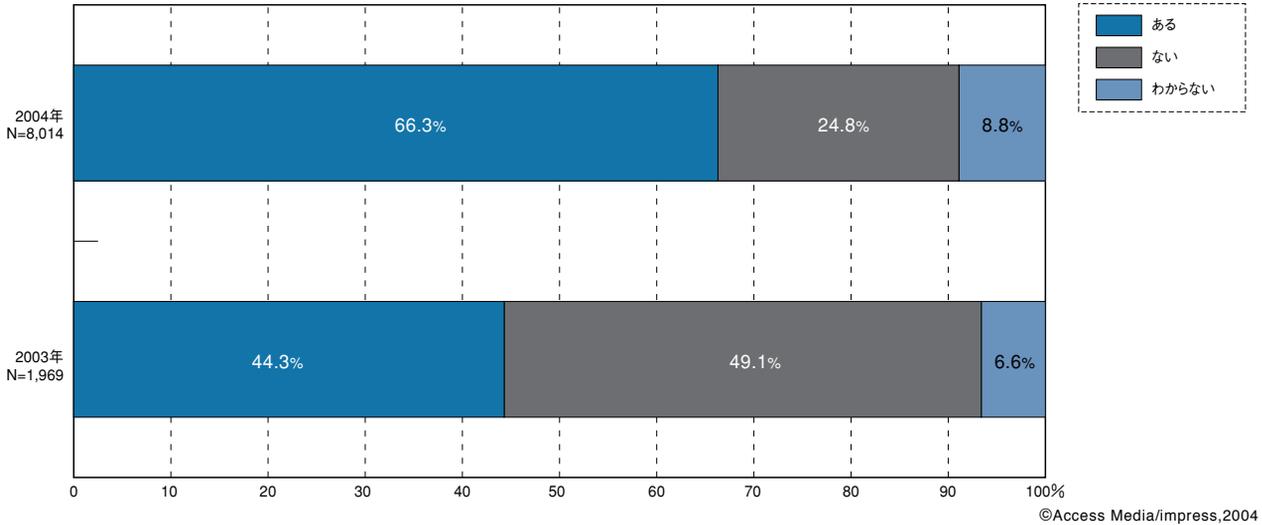


コンピュータウイルス

ウイルス感染メールを受信した人は66.3%

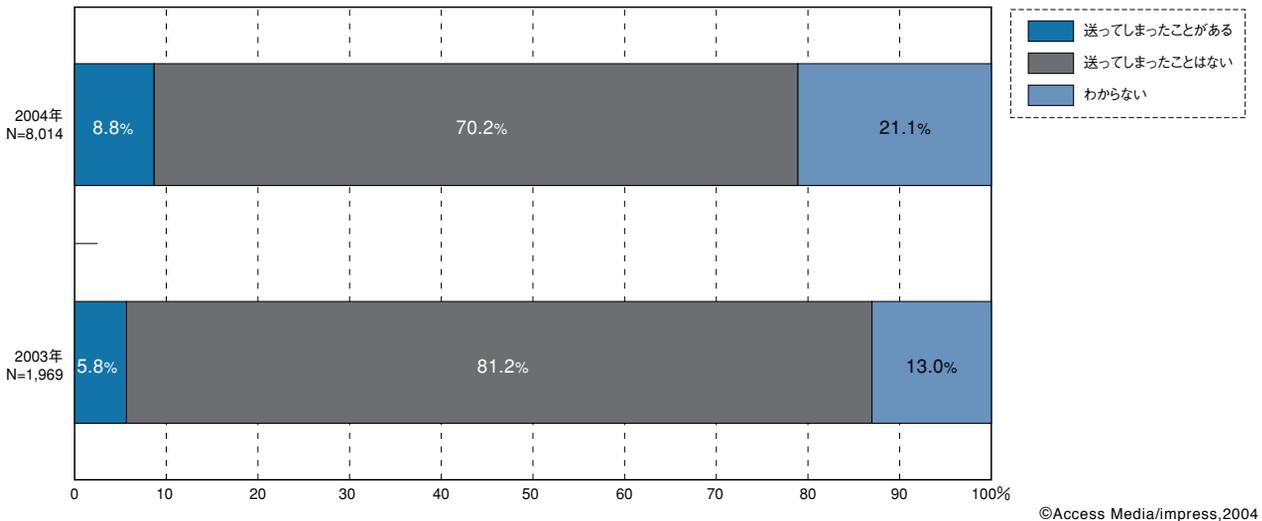
資料2-4-9 ウイルス感染メールの受信経験（2003年-2004年）



今年は66.3%がウイルス感染メールを受信したことがあると回答しており、前年より約20%増加している。今年の結果から、ウイルス被害状況が増加し、個人がセキュリティ対策ソフトなどを積極的に取り込まなくてはならない状況になっていることが伺える。

ウイルス感染メールを送信してしまった人は8.8%

資料2-4-10 ウイルス感染メールの送信経験（2003年-2004年）

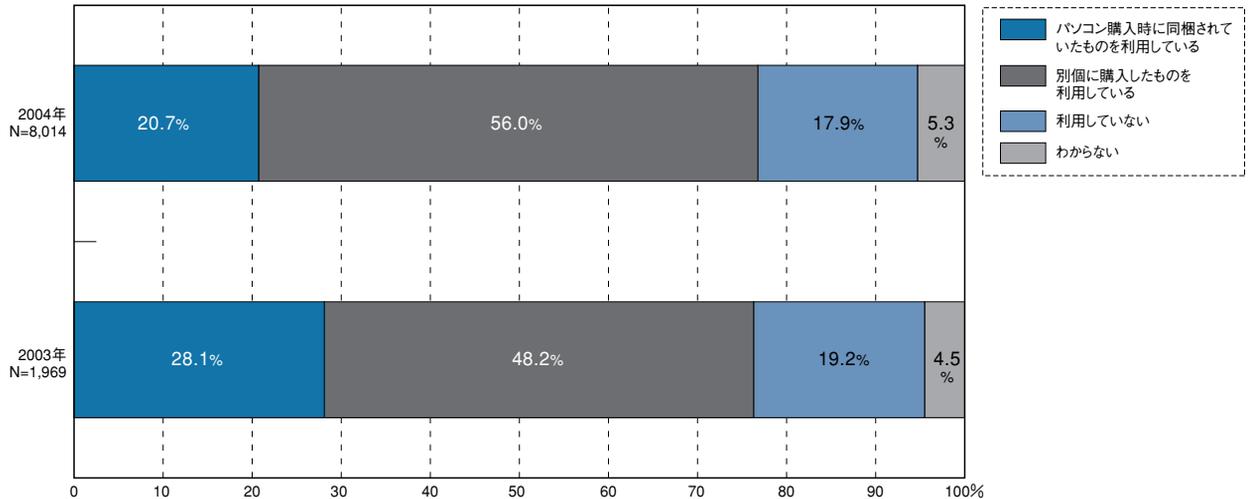


ウイルス感染メール受信者が増加したと相関し、「送信してしまったことがある」は8.8%と、昨年と比較すると約3%の増加である。21.1%が「わからない」と回答しており、ここにはウイルス感染メールを受信しただけで自動的に送信されてしまうケースがあることを理解している人も含まれる。

コンピュータウイルス

ウイルス対策ソフトの利用率は76.8%

資料2-4-11 ウイルス対策ソフト利用の有無 (2003年-2004年)

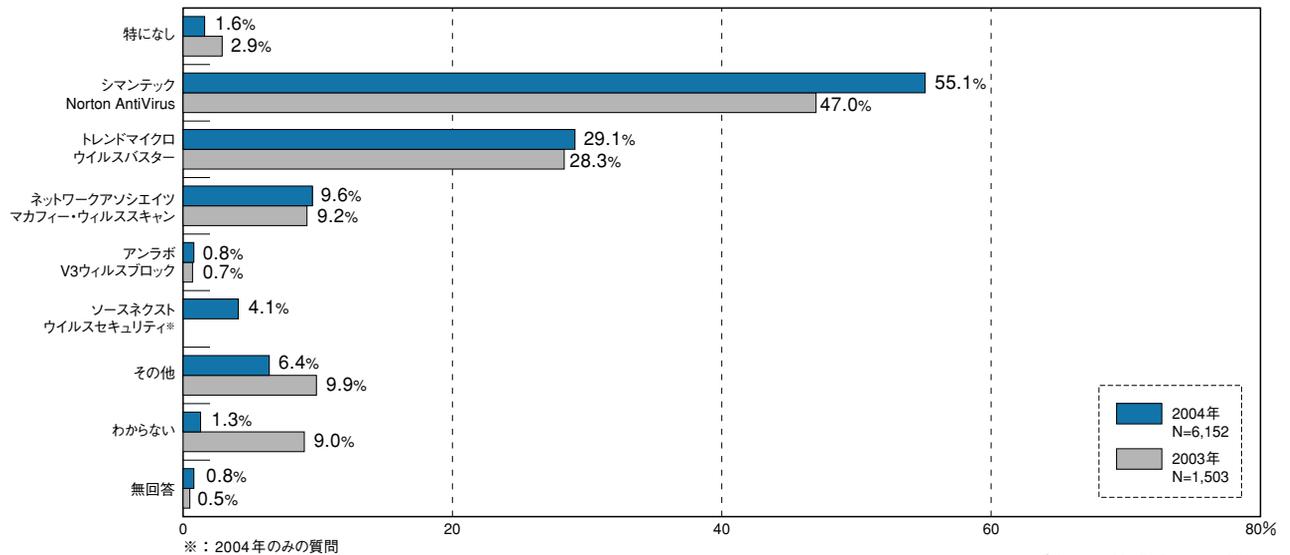


©Access Media/impress,2004

ウイルス対策ソフトを独自で購入しているケースが56.0%で、昨年より約8%のアップである。セキュリティ対策でも同じ傾向が見られたが、個人で対策を施さなくてはならない状況が、今回の調査からうかがえる。ウイルス対策ソフト導入率は、76.8%である。

利用されているウイルス対策ソフトはNorton AntiVirusで55.1%

資料2-4-12 利用しているウイルス対策ソフト製品 (2003年-2004年)



©Access Media/impress,2004

ウイルス対策ソフト利用者 (6,152サンプル) の利用ソフトの中で利用が高いのは、「シマンテック Norton AntiVirus」(55.1%)、次いで「トレンドマイクロ ウィルスバスター」(29.1%)であった。独自で購入した製品では、「ウィルスバスター」や「ソースネクストウィルスセキュリティ」が相対的に高く、パソコンに同梱された製品では「Norton Antivirus」が相対的に高い。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp